

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 瑞浪高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年11月11日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 瑞浪高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	安藤 徳善	瑞浪市日吉公民館 館長
副会長	正村 和英	瑞浪市 総務部長
委員	鷺尾賢一郎	瑞浪商工会議所 前会頭
	三輪田幸泰	瑞浪市議会 議員
	岩島 哲也	瑞浪北中学校 校長
	栗岡 洋美	中京学院大学短期大学部 准教授
	田中真奈美	稲津幼稚園 園長 (欠席)
	玉川 幸枝	合同会社プロトビ 代表 (欠席)
	山田 弥生	瑞浪高等学校 育友会長 (欠席)
	山田 幸男	瑞浪市教育委員会 前教育長
オブザーバー	小川 祐輝	岐阜県議会 議員
	水野 光二	瑞浪市 市長 (欠席)
	加藤 健二	瑞浪高等学校 同窓会長
学校側	伊左治錦司	校長
	坂本 康晴	教頭
	相賀 栄寿	事務長
	今井 典彦	教務部長(教務主任)
	丸谷 利幸	進路支援部長(進路指導主事)
	安田 貴彦	生徒支援部長(生徒指導主事) (欠席)
	齋木 一美	生活産業部長(生活デザイン科主任)
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校評価アンケートについて

意見1：学習指導に関する項目で高い評価を得ている。どのような学習支援を行っているのか。

⇒ 国語、数学、英語の3教科では学び直しに力を入れている。他教科でも定期考査の前には復習プリントを準備し丁寧な指導を心がけている。さらに、学力が高い生徒に対しても放課後に進学補習を行うなど、進路実現に向けた手厚い指導をしている。

意見2：「教員のたまご発掘事業（ミニ教育実習）」において、本校生徒がとてもしっかりと中学生に学習支援をする様子を見せてもらい感心した。本校での学習支援の成果が、そこにも表れている。

意見3：転学者が増加しているとのことだが、コロナ禍の影響があるのか。また、どのような対応をしているのか。

⇒ コロナ禍との関係は分からないが、デリケートな生徒が増えてきたことが転学者の増加に影響している。対応としては、生徒が悩みごとなどを相談しやすいように教育相談の充実を努めている。希望する生徒にはスクールカウンセラーとの面談を受けられるようにしている。また各年次職員会を毎週開催し、生徒の様子について職員間の情報共有に留意している。

意見4：通信制高校への転学が増加しているとのことだが、通信制の認知度が高まっているため、はじめから通信制高校を志望する中学生も増えている。多様化の時代ではあるが、中学校における進路指導の課題でもある。

意見5：1年次生のアンケート回答率が低い。なぜ低かったのかを分析するとよい。全員が回答することでアンケートの精度が上がる。

意見6：他学年と比較して3年次生の否定的な回答が多かった理由について、「期待した高校生活になっていないのではないか」という考察があった。これは年次が上がるにしたがって否定的な回答が増えているということか。

⇒ 年次が上がるにつれて増加しているわけではなく、今年度の3年次生特有の傾向と捉えている。ちょうど高校入学時からコロナ禍の影響を受けた学年であり、入学式の翌日から2か月間のオンライン授業を余儀なくされた。このような背景があるため、他学年よりも否定的な回答が多いのではないかと分析している。

意見7：アンケート結果から今後、学校としてどのように取り組んでいくのか。

⇒ 本校の教育活動を、持続可能なものとして再構築していく。そのためにも地域との連携を大切にしたい。また、新入生に対するスタートラインからのサポート体制づくりを進めたい。クラスや生徒のことを担任が抱えるのではなく、今まで以上に組織で対応できる学校にしていく。

意見8：アンケート項目の「気持ちの良いあいさつをしている」「掃除が行き届いている」等で、さらに評価が上がるように取り組んでほしい。そして「本校に入学できて良かった」という項目でA評価が増えることを期待している。

6 会議のまとめ

- ・学校評価アンケートでは、保護者および生徒から概ね高い評価を得ている。
- ・アンケートで否定的な回答が10%を超えた項目および「わからない」という回答が多かった項目については課題として職員で共有し、今後の学校運営に生かしていきたい。
- ・本校の教育活動を持続可能で体系的なものに再構築するために、地域との連携を大切にしながら今後も継続的に意見を募っていく。